第８講　す・さす・しむ／「せ」の識別

PART１　す・さす・しむ

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
「　・　・　」**の未然形**	す	せ	せ	す	する	すれ	せよ	下二型
それ以外の**未然形**	さす	させ	させ	さす	さする	さすれ	させよ	下二型
未然形	しむ	しめ	しめ	しむ	しむる	しむれ	しめよ	下二型

※「四段・ナ変・ラ変」の未然形＝「　」段＋す
　それ以外の未然形　　　　　＝「　」段＋さす

【意味】

①　使役（～せる・～させる）
②　尊敬（～なさる・お～になる）

〈見分け方〉＝「　　　　」を見る。

「　　」＝す・さす・しむ＝「又は」

＋「　　」＝給ふ・おはす（おはします）・らる

ない→「　　」

ある→「又は」

※真下に尊敬語がある場合→「　　　　」を確認

「人に」「人をやりて」「人を召して」「人に命じて」「人して（＝に命じて）」がある→「　　　　」

「人に」が補える→「　　　　」

〈例題二〉 次の傍線部の文法的意味を答えよ。

① 書きたるを御覧ありて、大いに笑はせおはしまして、…
② それを、張らせてまゐらせむとするを、
③ 御供なる右近大夫を召して、点しつけさせたまふ。
④ 皇后宮聞かせ給ひて、いみじう喜ばせ給ふを、…
⑤ 心にくき限りの女房、四五人ばかり候はせ給ひて…
※候ふ＝お仕えする

問九 「人参りて、判ぜさせたてまつるに、…」の傍線部の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

1 推量　2 使役　3 断定　4 過去　5 完了　6 尊敬

問十 「競宴（きやうえん）といふこと、春日殿（かすがどの）にて行はせたまふ。」の波線の助動詞の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

1 可能　2 受身　3 完了　4 使役　5 尊敬　6 自発　7 婉曲

〈Memo〉

第8講　PART1　確認問題

①「僧達近う候ひて、御念仏をして聞かせ奉る。」の傍線部の文法的意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　命令　イ　断定　ウ　使役　エ　尊敬

②「地獄に落ちさせ給はん事こそ、あさましく侍れ。」の傍線部の文法的意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　尊敬　イ　完了　ウ　自発　エ　使役

③傍線部の文法的意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

（帝は）その方におぼめかしからぬ人、二、三人ばかり召しいでて、碁石して数置かせたまふとて、…

ア　命令　イ　尊敬　ウ　使役　エ　可能

④「妻（め）の女（をうな）にあづけて養はす。」の傍線部と文法的意味が同じものを、次の中から選べ。

ア　女院（にょうゐん）は、入道殿をとりわき奉らせ給ひて、…
イ　宮のいでさせたまふに、…
ウ「上も聞こしめして、興ぜさせおはしましつ。」
エ　何によりてか目を喜ばしむる。

⑤「人を苦しめ、法を犯さしめて、それを罪なはん事、…」の傍線部の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　法を犯させて
イ　法を犯して
ウ　法を犯すとして
エ　法を犯さなくて

第８講　ＰＡＲＴ１　解答

〔例題二〕　①　尊敬　②　使役　③　使役　④　尊敬　⑤　使役

問九　２

問十　５

第8講　PART1　確認問題　解答

〔解説〕

① 助動詞「す」の連用形。下が「奉る」で尊敬語ではないので使役。よって、ウが正解。

② 助動詞「さす」の連用形。下が「給ふ」で尊敬語であり、上に「人に」がないので尊敬。よって、アが正解。

③ 助動詞「す」の連用形。下に尊敬の「たまふ」があるが、上に「人」を「召しいでて」とあるので使役。よって、ウが正解。

④ 傍線部は助動詞「す」の終止形。下に尊敬語がないので使役。選択肢の中で下に尊敬語がないのはエのみ。よって、エが正解。

⑤ 「犯さしめ」はサ行四段活用動詞「犯す」の未然形＋助動詞「しむ」の連用形。「しむ」の下に尊敬語がないので使役で、「〜させる」と訳す。よって、アが正解。

〔解答〕

① ウ　② ア　③ ウ　④ エ　⑤ ア